

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月19日 札幌市立福井野中学校

1 本年度の重点目標

1 教育課程の充実 2 学ぶ力の育成 3 共通理解に基づいた生徒指導 4 豊かな心・健康やかな体の育成 5 学年・学校経営の充実 6 信頼される学校の創造 7 安心・安全な学校づくり（危機管理意識の高揚）

2 本年度の経営方針

1 創意あふれ、明るく和のある学校の継続と新たな発展を目指す
2 生徒にとって魅力ある学校を目指す
3 開かれた学校を目指す

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校運営	創意あふれ、明るく和のある学校の継続と新たな発展ができたか	A	毎日の生活や様々な学校行事で、本校に学ぶ生徒達の明るい笑顔があふれた。同時に、2021年度の「新学習指導要領」全面実施に向けた3ヵ年計画の2年目として研修を深め、適宜教育課程の改善にも努めた。特に、学校と、生徒・保護者・地域・関係機関との連携を更に深め、一層の創意あふれる学校づくりに取り組んだ。道徳教育においてもその評価を重点とし、研修を重ねた。移行期間最終年にあたる来年度は、より広く細やかな視点から、教育課程を充実させたい。	A	A
	生徒にとって魅力ある学校づくりができたか	A	学校評価アンケートでは、「学校行事に意欲的に参加している。」という項目への評価が高い一方で、教科指導に関する項目への評価がやや低い。あらためて「何ができるようになったか」という生徒の視点から、本校の『「学ぶ力」育成プログラム』と『「健康やかな体」育成プログラム』を見直し、充実した授業のデザイン、魅力ある学校づくりに努めたい。	A	A
	開かれた学校づくりができたか	A	日曜授業参観の実施、学年集会や各種講演会、福井野祭・合唱コンクール・陸上競技大会等の学校行事の地域公開に加え、今年度は、ホームページや学校便りのあり方も見直し、日々の様子についても積極的に発信した。また、札幌市の環境保護プロジェクト活動にも参加し、全市に向けて実践発表も行った。今後もさらに保護者・地域との双方向の連携を充実させていきたい。	A	A
	信頼される学校の創造ができたか	A	積極的な情報公開に加え、今年度は、生徒と教職員による小中交流や地域行事参加の機会の増加、学校説明会や各学年PTA集会、期末懇談等の機会も活用した情報交流等に積極的に取り組み、双方向の連携の大切さをあらためて実感した。今後	A	A

			は、学校評価アンケートの実施と活用方法の改善も加え、より信頼される学校づくりを目指していきたい。		
	安心・安全な学校づくり（危機管理意識の高揚）ができたか	A	様々な災害発生時における危険性の理解、安全に行動するための訓練、防災用品の整備等の防災教育の充実に努めた。避難訓練の内容を工夫し実施回数を増やしたことで、生徒の防災意識、有事の際には地域社会の一員としての自分たちのあるべき姿なども真剣に考えることができた。不審者対応については、適宜指導・徹底し、情報発信に心懸けた。また、必要に応じて下校時等に通学路を見回り、安全指導に努めた。	A	A
学校関係者評価委員 による意見		「生徒一人一人の良さや伸びを認める」指導について、すでにしている実践を生徒一人一人が成長を実感できたことを「表現」させていくことがこれからは大切になってくるのではないかな。			
教科指導	基礎的・基本的な内容の確実な定着と、知識的学力の向上を図る教科経営ができたか	A	「できる、わかる、楽しい授業づくり」「学び合い」に腐心すると同時に、国語・英語・理科・数学の授業においては少人数指導やT Tによる個に対するきめ細やかな支援も行った。良い結果ではあるがそれに甘んずることなく、一人一人のよさや伸びを認める指導と評価の一層の充実に努めるとともに、生きて働く知識や技能の習得に向け、基礎力を培い、課題解決をしていく姿を大切にしたい。	A	A
	学習方法や評価方法、またその伝え方は適切だったか	A	学習方法や評価方法について、生徒には全教科とも、授業や機会あるごとに、保護者には学校説明会や学年PTA集会で、丁寧な説明を心がけた。また、各種学力調査の結果を受け、随時結果の分析を含めた研修と会議を重ね、授業改善に取り組んできた。評価資料についても、学校便りに掲載するなどの工夫をした。よりよい結果を求め、生徒が自らを高め、自らの成長を実感できる学びを継続させたい。	A	A
	学校教育全体を通じて「学ぶ力」の育成に努めることができたか	A	教科の授業だけではなく、教育活動全体を通して「主体的・対話的で深い学び」を目指した取組を行い、生徒の成長を実感している。今後も生徒が自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるよう、本校の『「学ぶ力」育成プログラム』に沿って、より一層、深い研修をすることで、授業を中心とする変革を行う。「新学習指導要領」全面実施に向け、今年度の成果と課題を踏まえて、本校の新しい教育課程の編成を進めていきたい。	A	A
学校関係者評価委員 による意見		改善の方策について、具体的に取り組みを進め、教科指導の改善の対応強化をお願いしたい。また、「生徒の良さ」は成績などの数字のほか、生徒の日常の言動・姿勢・態度・友達とのかかわり等を共に認め合う環境づくりを図ってほしいと思う。			

生活指導	基本的な生活習慣の定着を目指し、共通理解に基づいた生徒指導ができたか	A	生徒に寄り添いつつ、生徒理解に努め、人としてのあるべき姿の育成指導を基本として、生活習慣の乱れ、問題行動や生徒の心理的变化を見逃さず、適切なタイミングで指導するよう心掛けてきた。学年会及び職員会議で行っている生徒に関する情報交流は、生徒の実態を把握し、共通理解を図るために非常に有益であり、今後も継続していきたい。	A	A
	有効な相談活動を企画・推進することができたか	A	教育相談週間を設定し、担任による全生徒との個人面談を実施した。また、日頃からの生徒との関わりだけでなく、いじめアンケートを実施し、情報を教職員で素早く共有することで、問題の未然防止、早期発見、早期対応につなげることができた。スクールカウンセラー、相談支援パートナー、学びのサポーター、スクールソーシャルワーカー等との連携をより堅固なものとし、生徒の支援を続けたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見		学校訪問の際、校内の明るく活気のある雰囲気や、生徒のあいさつや対応の良さを強く感じている。自己評価の記述を大切に、来年度の更なる指導の充実を期待している。また、「生徒の良さ」は成績などの数字のほか、生徒の日常の言動・姿勢・態度・友達とのかかわり等を共に認め合う環境づくりを図ってほしいと思う。			
特別活動等	健やかな体の育成のための具体的な取組ができたか	A	陸上競技大会などの学校行事やスキー学習も活用した体育科の授業を中心に、栄養教諭による食育指導、養護教諭による健康・安全指導、外部講師の活用等、生徒の心と体の健やかな成長への取組ができた。また、「長縄跳び大会」や冬の間にできる運動や活動などにも力を入れ、体力向上の試行も重ねた。	A	A
	豊かな心を育成し、命を大切にする指導を充実させ、いじめのない学校づくりができたか	A	全教職員による「豊かな心」育成の要となる道徳の授業の研修や実践を柱とし、評価についての研修会の実施、積極的な教育相談等により、「いじめは絶対に許さない」との基本姿勢を堅持し、生徒間の望ましい人間関係の形成に尽力してきた。また、ボランティア活動を通して社会性を育むこともできた。「いじめゼロ」が期待される目標であり、今後も道徳観の向上を目指し、より一層生徒の「心の育成」に努めていきたい。	A	B
学校関係者評価委員による意見		地域社会との連携や行事への参加等、積極的な活動への取り組みを高く評価している。今後も地域社会との連携や活動への参加協力を期待している。			